

SANITARY NAPKIN**Publication number:** JP60053144**Publication date:** 1985-03-26**Inventor:** NAKANO TADAO**Applicant:** ZENMI CO LTD**Classification:****- international:** **A61F13/472; A61F13/15; A61F13/15; (IPC1-7):**
A61F13/18**- European:** A61F13/15B1G**Application number:** JP19830160882 19830830**Priority number(s):** JP19830160882 19830830**Also published as:**

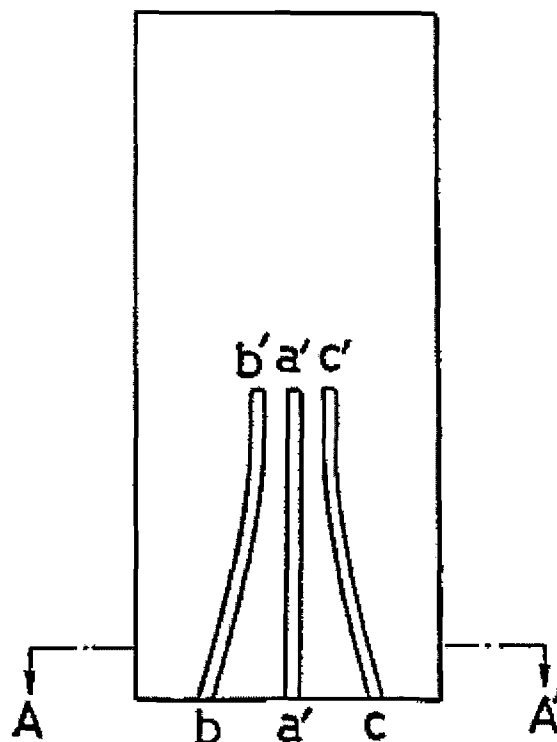
EP0136524 (A1)

[Report a data error here](#)

Abstract not available for JP60053144

Abstract of corresponding document: **EP0136524**

Disclosed is a sanitary napkin including at least an absorbent material for menstrual blood, a blood-impermeable material and a covering material, characterized in that the sanitary napkin is provided with at least one bending groove which, during use, can produce a configuration conforming to the shape of the perineal area of the wearer.

FIG.1Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑫ 公開特許公報(A) 昭60-53144

⑥ Int.Cl.⁴
A 61 F 13/18識別記号 庁内整理番号
6737-4C

④ 公開 昭和60年(1985)3月26日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 生理用ナブキン

⑰ 特 願 昭58-160882

⑱ 出 願 昭58(1983)8月30日

⑲ 発 明 者 中 野 忠 雄 海南市鳥居207番地

⑳ 出 願 人 ゼンミ株式会社 海南市鳥居210番地

明 細 書

1. 発明の名称 生理用ナブキン

2. 特許請求の範囲

- (1) 吸収材、防漏材、クッション材、包被材等から成る生理用ナブキンに於て、面積の全体又は部分、構成素材の全部又は一部の圧縮、減嵩の有無に関係なく、吸収層、吸収材と防漏材を一体化した層、ナブキン全体のいずれかの任意の位置に、折曲案内溝たる一条乃至数条の直線、曲線、折れ線のいずれか、若しくは、それらの組合せから成る、線状又は点線状のプレスを、片面及び両面より施すことを特徴とする生理用ナブキン。
- (2) 特許請求の範囲第1項記載の生理用ナブキンに於て、非使用面の任意の位置へ、一条乃至数条のずれ止め粘着テープを構成することを特徴とする生理用ナブキン。
- (3) 特許請求の範囲第1項及び第2項記載の生理用ナブキンに於て、該折曲案内溝と共に、その近傍へ一条乃至数条の直線、曲線、折れ

線のいずれか、若しくはこれ等の組合せから成る線状又は点線状の折曲案内補助プレスを、片面及び両面より施すことを特徴とする生理用ナブキン。

- (4) 特許請求の範囲第1項及び第2項、第3項記載の生理用ナブキンに於て、該折曲案内溝と共に、その近傍へ折曲案内補助プレスとして、面状プレス及び面状、線状、点線状の組合せによるプレスを片面及び両面より施すことを特徴とする生理用ナブキン。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、生理用ナブキンに関するものである。

従来の生理用ナブキンは、矩型偏平なものが殆んどで、これが毎回確実に女性の局部体型に密着した最良の状態で装着されることは難しい。

また、これらの問題を解消しようとして、ナブキンに特殊な成形を施したものが考えられているが、女性の局部体型には、個人差が有る為、ナブキンの形状と局部体型が旨く一致する

ことは希である。

これらの事が原因となり、吸収不良、横漏れ等のトラブルを起し、使用時の不快感を引き起している。

また、特殊な成形を施したナブキンは、女性に心理的に抵抗感を稍えつけてしまい、さらに大量、高速の生産ラインに馴染まず、コンパクトな包装や、物流形態にも不向きなものとなっている。

本発明は、ナブキンに折曲案内溝たる一条乃至数条の直線、曲線、折れ線のいずれか、若しくはそれらの組合せから成る線状及び点線状のプレス、片面及び両面より施すことにより、ナブキン形状は心理的な抵抗感が無く、生産ラインに合致する矩型偏平であり乍ら、使用時にあっては、体型の個人差に関係なく、また、特別な操作を行なうことなく、生理時通常の使用によって、使用者の局部体型に対し最良の状態が確実に誘導されるというまったく新しい発想に基づき、前記のごときナブキンの宿命的欠点を解消し、生理事の行動性を大きく高めたものである。

-3-

さらに、第4図、第5図のごとく、折曲案内溝 $a-a'$ と共に、折曲案内溝 $b-b'$ 、 $c-c'$ を施すならば、股間圧により、一辺 $b-a-c$ が、 a を頂点にして立ち上り、これに伴って、 $a-a'$ を腰線とする山形 $b-a'-c$ が、折曲案内溝 $b-b'$ 、 $a-c'$ を起線として形成されることにより、この山形部が臀部同部に添いずれを防ぐ。

また、ナブキンの非使用面の任意の位置へ一条乃至数条のずれ止め粘着テープを構成したナブキンに、折曲案内溝を施す場合は、折曲案内溝とずれ止め粘着テープの両者により、より安定した状態となる。

例えば、第7図、第8図、第9図の如く後部に折曲案内溝 $a-a'$ 、 $b-b'$ 、 $c-c'$ に対し、前部にずれ止め粘着テープ f を構成した場合、前部がずれ止め粘着テープにより、シートに固定され、後部が折曲案内溝により臀部同部に密着される。さらに、ナブキン中央部に於ては第10図の断面図のごとく後部折曲案内溝 $a-a'$ による誘導で、ナブキン中心部が局部側にカーブし密着する。そし

-5-

次に本発明の実施例を図面を基に説明を行なう。

第1に、女性の局部体型への誘導の基本である折曲案内溝について説明を行なう。

この折曲案内溝は、厚型ナブキンや圧縮減嵩された薄型ナブキン等のタイプ別、ずれ止め粘着テープの有無に関係なく、また構成素材による制限を受けることなく、ナブキンの任意の位置に施すことが出来る。

例えば、吸収層のみに施す場合も、吸収材と防漏材を一体化した層に施す場合も、また、ナブキン全体に施す場合も同等の効果を導ることが出来る。

臀部同部に密着する形状を誘導する折曲案内溝は、ナブキンの使用時後部の30%~40%の範囲に施す場合に最も効果を発揮する。

第1図のごとくナブキン前後の両短辺の中心を結ぶ線上へ、折曲案内溝 $a-a'$ を施すとき、ナブキン使用時に股間圧によって、ナブキン後部が折曲案内溝で折り曲がり、臀部同部に添う形状となる。

-4-

てナブキン両側部は、後部折曲案内溝 $b-b'$ 、 $c-c'$ による誘導と、前部ずれ止め粘着テープにより、ナブキン前部中心部がシートへ固定される為に、股間圧により、自然に立ち上り壁を形成し横漏を防ぐという形状が誘導される。さらに、ナブキン両側部に、第6図の $d-d'$ 、 $e-e'$ のごとく折曲案内溝を施すならば、第10図の断面図の形状がより確実に誘導されることとなる。

股間前部より後部に至る局部体型に対しては、この間の折曲案内溝による誘導により、ナブキンの前後両短辺の中心を結ぶ線を中心線とし、第10図の断面図のごとく、左右対称の状態では、後部は折曲案内溝による山形誘導により、臀部同部に確実に密着され、さらに前部はずれ止め粘着テープで固定される為に常に前記中心線に添って、股間前部より後部に至る局部体型の弧形状を形成することとなる。

これらの誘導される形状は、折曲案内溝を基点とし、股間圧、シートの引き上げ等の生理時通常の作用により、誘導される為に自由度が大きく、

-6-

個人差に関係なく、使用者の体型に対し、最も良い状態で使用されることとなる。

次に、折曲案内溝による誘導効果をより確実にする為の折曲案内補助プレスについて説明を行なう。

この折曲案内補助プレスは、複数の直線、曲線、折れ線のいずれか、若しくは、それらの組合せから成る線状及び点線状プレスを片面及び両面より施す。あるいは、1乃至数ヶ所に面プレスか、面プレスと上記線状及び点線状プレスとの組合せを片面及び両面より施す。

また、この折曲案内補助プレスも、折曲案内溝と同様に、厚型ナブキンや、圧縮、減嵩された薄型ナブキン等のタイプ別、ずれ止め粘着テープの有無に関係なく、また、構成素材による制限を受けることなく、ナブキンの任意の位置に施すことが出来る。

本来、生理用ナブキンは、ソフトな柔軟な素材で形成されているので、折曲案内溝が効果的に作用するには、当該折曲案内溝の近傍、又は周辺が

折れ曲がりに対する抵抗帯としてプレスされ、固められている方が望ましい。

第11図の ϑ のごとく、折曲案内溝の周辺が面状で固められている場合は、最も効果的であるが、この場合はその部分のソフトな感触が失われる恐れがある。

本発明では、該折曲案内溝に対して、その近傍に斜角的に補助プレスを行なうならば、第12図の ϑ' のごとく、線状でも点線状であっても、折れ曲がりに対する抵抗帯として、面状と同様に有効であり、且つ、当該部分が全面的に固められることが無いから、ソフトな感触を失うことも無いことを確認した。

以上の効果により、通常は生産ラインや、包装形体に適合した矩形偏平なナブキンが、使用時に於て、各使用者の体型に対し、最良の状態を確実に誘導するという画期的なナブキンを提供することが出来るのである。

4. 図面の簡単な説明

第1図、第2図、第3図、第4図、第5図、第6図は、折曲案内溝の実施例。

第7図、第8図、第9図は、折曲案内溝及びずれ止め粘着テープの実施例。

第10図は、ナブキン中央部誘導形状の断面図。

第11図、第12図は、折曲案内溝及び折曲案内補助プレスの実施例。

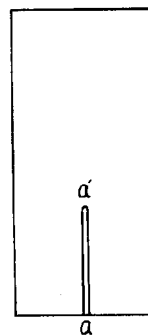
$a - a'$ 、 $b - b'$ 、 $c - c'$ 、 $d - d'$ 、 $e - e'$ は折曲案内溝。

f はずれ止め粘着テープ。

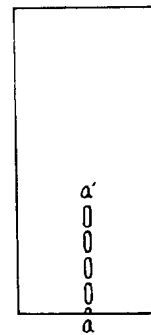
ϑ 、 ϑ' は折曲案内補助プレス。

特許出願人 株式会社 センミ

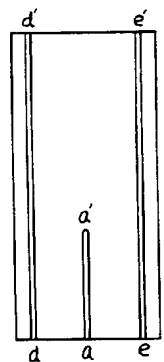
第1図



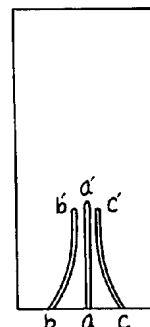
第2図



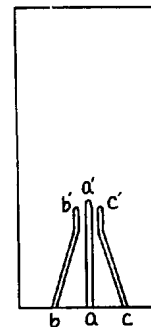
第3図



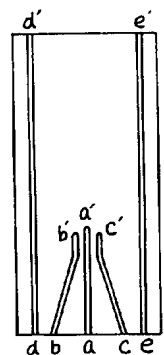
第4図



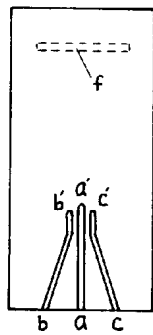
第5図



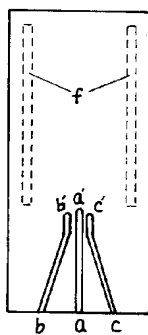
第6図



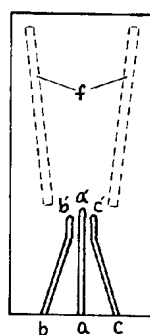
第7図



第8図



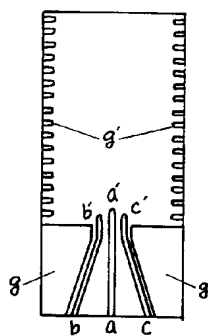
第9図



第10図



第11図



第12図

